

目標達成計画

作成日:令和 4 年 7 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	II-20	コロナ感染予防の為、直接面会が出来ない現状である。もっと利用者の状況を家族に伝えたい。	月に1回は必ず動画、写真を送信する機会を作る。ケアプラン作成時には利用者の生活状況がイメージできるように説明する	動画を撮る計画を立てる。職員誰もがアイパッドを使用できるようにする。身体状況の変化等、随時ご家族に報告し、情報を共有する。	12ヶ月
2	III-33	重度化の早期発見、終末期をチーム、家族、主治医を交え話しあい、共有し、大切な時間としたい。	新規利用者家族に対し、終末期の在り方について意思確認し、ソレイユグループホームあらしまでできる事を説明する。終末期を特別視せず早い段階から備え、落ち着いた対応ができるようにする。	異常の早期発見、主治医との連携を強化する。看取り研修会に参加し、他職員に伝達する。その時期の予測をすると共に、主治医を交えて シュミレーションをする。	12ヶ月
3	IV-36	一人一人の尊厳を大切に利用者、家族から満足して頂けるケアをしたい。	利用者と職員並びに職員と職員は、友達言葉にならないようにし、仕事であるという意識を習慣的に持つ事。そして、利用者の生活の質の向上を目標に考えてケアができること。	常に利用者を中心とした業務改善を行い、利用者の声を聴く時間を持つ。認知症の基本知識や対応、スピーチロックの勉強を繰り返す。マスク生活であり、職員の表情が見えにくい分、言葉かけ、声のトーン、口調に注意する。職員同士、互いに注意し合える関係作りをする。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。